TOWISE

バックアップとリストア

使用バージョン:TOWISE 6.1.0.0



バックアップはお客様の財産であるデータを守ります。 定期的にバックアップを行いましょう。

目 次

・バックアップ _{複数バインダーのバックアップ}	P.1
・リストア 複数バインダーのリストア	P.5
・バインダーの簡易保存と読み込み バインダー単体のエクスポート/インポート	P.9

【バックアップ】複数のバインダーのバックアップを行います。

データ量により処理完了まで長時間かかる場合があります。時間に余裕がある際に作業を行ってください。

	<u>作業内容</u> 作業データのバックアップを行います。バッ クアップには、標準の「バックアップ」と「簡 易保存」があります。
	標準のバックアップ方法である 「キャビネット形式」のバックアップを行いま しょう。
	TOWISE DataCabinet を開きます。
€ TOWISE DataCabinet	
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 設定(S) 電子納品(C) パックアップ(B) ヘルプ(H) 作業開始 ゴミ箱 パ・1/9* - リスト パ・1/9* - 検索 成果検索 最新表示 基本設定 パ・9/7・97 マイコンピュータ 20××年-20××1001-1001 新規<	1 ツールバー【バックアップ】をクリックします。
白- 20××1001 更新日:2019/10/23 15:2:	バックアップ が開きます。
パウジアブ × ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	バックアップしたいデータを選択します。 「キャビネット単位」「フォルダー単位」「バイ ンダ単位」の指定が可能です。 「キャビネット」を選択すると、キャビネットに 含まれる全ての「フォルダー」「バインダー」 を対象とします。ここでは「フォルダー」によ るバックアップを行います。
	チュートリアルでは。「キャビネット単位」で バックアップを行う流れで説明します。
() 出力するデータにチェックをつけ	2 キャビネット名【20××年】【20ムム年】に チェックを付けます。
 □ □ マイコンピュータ □ □ 20××年 □ □ 20××2001 □ 20××2001 □ 20××2001 □ 10××2001 □ 10××2001 □ 10××2001 □ 10××2001	※1 フォルダー内に存在する全てのバインダが保存 対象となります。

1

- マイコンピュータ - ☑ 3 20××4	7水ルダー	作成日 2019/10/23 15:	演考		
- ○ 20××1001 - ○ 20××2001 - ○ ○ 20××4 - ○ ○ キャビネット 3 - ○ ● キャビネット 4					
		3.	クリック		
			戻ō(B)	茨^(N)	4928k
			戻る(8)	沷^(N)	++>?\$§

4. クリック

サイズ:

バス: 空き容量: --出力オプション □同一バインダーを上書きする

出力先 - 島 外部保存先バス: 30.59 MB

E:¥

✓ バインダー更新日が同じ場合は出力しない(差分バックアップ)

J



確認		×
?	選択されたドライブに外部保存キャビネットを作成しますか?	
	(はい(Y) いいえ(N)	

3 【次へ】をクリックします。

×

宛て先(保存先)のキャビネットを選択しま す。バックアップでは「キャビネット」の形で 外部保存します。保存先にも「キャビネット」 を作成します。

外部保存パスを指定します。

4 … をクリックします。

フォルダーの参照 が開きます。

保存先を指定します。 練習では、USBドライブ(E:)を選択して作業 を進めます。

- 5 【USBドライブ】をクリックします。
- 6 【OK】をクリックします。

外部保存パスに E:¥ と表示されている ことを確認します。(ドライブの表示は環境 によって異なります) 初めて登録する場合はここに「外部キャビ ネット」を作成します。

7 【新規作成】をクリックします。

7. クリック	外部保存パス: E:¥
	──新規作成 愛プロパティ ■■ 削除
メッセージを	確認し【はい】をクリックします。

1777 ■ 第15年67年37世展現して代表10. ■ 第15月17日 (1997) ■ 第15日17日 (1997)	×	Eドライブにキャビネットを保存する「外部保存」ができました。 保存対象が「フォルダ」の場合は、もう一度、 新規作成をクリックすると「キャビネット」を作成します。「バインダー」のみ保存する場合は、 さらに「新規作成」をクリックして「外部保存 キャビネット」の下に「外部保存フォルダー」を 作成します。 ●新規作成 ③プロ/57 ● 創版 ● ● 予期保存 ● ● 予期保存 ● ● 予期保存 ● ● 予期保存
	8	【次へ】をクリックします。
バックアップ ・ <td>9</td> <td>出力元に表示されているデータサイズと 出力先の空き容量を確認します。 (保存先)</td>	9	出力元に表示されているデータサイズと 出力先の空き容量を確認します。 (保存先)
□ 外部保存[E:] へ出力します。 複写先:空き容量 1,704 MB 再取得 複写元:必要容量 60 MB 複写後:空き容量 1,644 MB		最後の出力内容確認に移ります。 再度、空き容量を確認します。 必要であれば【再取得】をクリックして空容量 の計算を行ってください。
『バックアップ開始』をクリックすると、バックアップを開始します。		次の操作で、指定した場所にバックアップを 開始します。 選択したデーター数によっては時間が掛かる ことがあります。時間に余裕をもってバック アップを行いましょう。
	10	【バックアップ開始】をクリックします。
10. クリック (Tup Tur Teeta		

(4)77-7 X	
 ・ *#経費キャビネットにパックアップ中です ・ *ビネットを描写中です[2/2] 様写売:マイコンビュータ - 20ムム年 複写売:マイコンビュータ - 20ムム年 複写売:デタ回線存[6:] ・ ・ ・	バックアップが実行されます。
(258(8)) パッジアップ開始 きったち	バックアップが完了しました。 11 メッセージ内容を確認して【OK】をクリックしま す。
バックアップ × ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	 ※1 ご注意ください。 外部機器やそれらに使用するDVDなどのメディア、 USBフラッシュメモリなどに保存する場合、周辺機器を 取り外すときは、Windows上の通知領域に表示され ている「ハードウェアの安全な取り外し」/「ハードウェ アの取り外し」などのアイコンをクリックし、周辺機器を 完全に停止してから取り外して下さい。 周辺機器を停止しないで取り外すと、保存したデータ が消失するなど、次の操作で正常に動作しない場合 があります。 尚、周辺機器を取り外す方法は、お使いのOSによっ て、手順が異なります。
 ・ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	 ※2 ご注意ください。 バックアップされたデータは 指定したドライブに「Backup_Data」というフォルダを 登録します。フォルダ名の変更やフォルダ内のファイ ルを変更しないでください。 データをリストア(元に戻す操作)できなくなります。 「リストア」は、 フォルダ名「Backup_Data」とその中の「管理情報」を 利用してデータを読み込んでいます。

【リストア】複数のバインダーのリストアを行います。

データ量により処理完了まで長時間かかる場合があります。時間に余裕がある際に作業を行ってください。

COWSE Databanet Tr-/UK Ju Tr-/UK Ju Tr-/UK Ju Tr-/UK Ju Tr-/UK Ju Tr-/UK Tr-	「キャビネット形式」でバックアップしたテ タを TOWISE DataCabinet に戻し 「リストア」を行いましょう。 TOWISE DataCabinet を開きます。
	外部キャビネットにバックアップしたデー 再登録する場所(キャビネット・フォルダ 選択します。
 □ キャビネット 1 □ キャビネット 2 □ キャビネット 3 □ フォルグー 1 □ 20××年 □ 20××2001 □ バインダー 1 □ バインダー 2 □ ○ 20△年 □ 測量基本 	
TOWISE DataCabinet ToWISE DataCabinet ToYIN(F) 編集(E) 表示(V) 股定(S) 電子納品(C) パックアップ(B) ヘルプ(H) F推開始 JS箱 パインダ・リスト パインダ・検索 成果検索 最新表示 基本設定 パックアップ JJ、トア JJ、ト JJ、 J	1 ツールバー【リストア】をクリックします。

ックアップしたデー abinet に戻します。

アップしたデータを ネット・フォルダ)を



H部保存/t2: E:¥	再登録するデータにチェックを付けます。 5 キャビネットにチェックを付けます。
● 20△△年 5. クリック	6 【次へ】をクリックします。 () (B) (スペ(N) キャンとル 6. クリック
読込元	7 読込元に表示されているデータサイズと 登録先の空き容量を確認します。 【次へ】をクリックします。
登録先 F データベース: マイコンビュータ パス: 空き容量: 818.76 GB / 929.95 GB	
」 戻る(B) 次へ(N) キャンセル 7. クリック	

リストア						;
0	読込内容を確認してください。					
	2 件の キャビネット	· 8.				
	* マイコンピュータ					
	へ登録します。					
	複写先:空詩容量	838,400 MB	再取得			
	複写元:必要容量	35 MB				
	複写後:空き容量	838,366 MB				
	『リストア開始』をクリックすると、リン	ストアを開始します。				
					8. クリッ	ク
					<u> </u>	_
				戻る(B)	リストア開始	47/08

リストア					×
0	外部保存キャビネットよりリストア中です。。。				
	キャビネットを複写中です。。。[2/2]				
	複写元:外部保存[E:] - 20△△年 複写先:マイコンピュータ				
		申止			
			戻る(B)	リストア開始	49×23
	11757			×	
	5217				
		リストアは正常に終	了しました。		
				9. ⁄	フリック
					/
			01/		

TOWISE DataCabinet

an a
ビネット 3 ー フォルダー 1 計 「注 「注 「注 「注 「注 「注 「注 「注 「注
🚰 📴 ங 📪 🄶 🧈 ンダー

最後の出力内容確認に移ります。 再度空き容量を確認します。 必要であれば【再取得】をクリックして空容量 の計算を行ってください。

次の操作で、指定した場所にリストアを開始 します。 選択したデーター数によっては時間が掛かる ことがありますので注意が必要です。

8 【リストア開始】をクリックします。

リストアが実行されます。

リストアが完了しました。

9 メッセージ内容を確認して【OK】をクリックします。

TOWISE DataCabinet に登録されたか 確認しましょう。

【簡易保存と呼び出し】単体バインダーの外部保存と呼び出し方法

😡 TOWISE DataCabinet



TOWISE DataCabinet

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 設定(S) 電子納品(C) バックアップ(B) ヘルプ(H)								
作業開始 ゴミ箱	iЛ	*インタ*ーリスト バインタ*ー検索	1 成果検索	最新表	示	基本設定	を パックアッフ	
!果マイコンピュータ 20××年−20××1001−1001								
 ●新規 ● □ □ ● ● ● ● ● ● ● □ ● ● ● ● + ヤビネット 1 □ ● + ヤビネット 2 □ ● = + ヤビネット 3 □ □ □ フオルダ-1 □ ○ 20××年 □ □ ○ 20××1001 						1001 更新日:2019/10 作成日:2019/10 外部保存日:		
		作業開始(O)	測量図面デー	9	· 転票 ·	テ−タ 🔽 🎓	ファイル ↓ ● インオ	
		移動(M) 複写(Q) 削除(E) 新規キャビネット作成(C) 新規フォルダー作成(D) 新規パインダー作成(B) パインダー検索(S) 成果検索(W)			成果	≹作成-1(平面図) 更新日:2019/10/16 14 登録日:2019/10/16 14		
					電子納品:電子納品 納品登録日:			
					地植	地積測重図-2(地積測重図) 更新日:2019/10/16 14 登録日:2019/10/16 14		
		テンプレート登録(T) テンプレート呼出(H) ネットワークコンピュータへ登録	(N) 2. 5	フリッ	ック 多角:	劇品: 録日:		
Г		■」「前回文政(案) 反足(V) バインダーエクスポート(Z)				更新日:2019/10/18 11 登録日:2019/10/18 11		
	図面インポート(T)				電			
		サムネイル画像の更新(M) プレビュー表示用キャッシュデータ生成(G) プレビュー表示用キャッシュデータ削除(J) 成果ファイル情報リスト出力(Y) プロパティ(A)			成果	成果作成-4(平面図) 更新日:2019/10/18 11		
					豆球口.2019/10/18 電子納品:電子納品 納品登録日:			
					L			

<u>作業内容</u>

簡易的に作業バインダーを外部に書出しす ることができます。メールなどに添付して社 外とのやりとりを簡単に行うことができます。

ー元管理を行う「キャビネット方式のバック アップ」とは別の「バインダー単体のバック アップ」です。キャビネット、フォルダーの情報 は保持しませんのでご注意ください。 個別にデータを保存管理したい場合にも利 用可能です。

データの簡易保存を行いましょう。

TOWISE DataCabinet を開きます。

- 1 簡易保存対象のバインダを選択し右クリック します。
- 2 【バインダーエクスポート】をクリックします。



保存先と出力ファイル名を確認します。

ファイル名はバインダー名が継承されます。 ファイル名を変更しても問題ありませんが、 インポート後のバインダー名は元の名称を 保持します。

ここでは「デスクトップ」に保存しています。

3 【保存】をクリックします。

エクスポートを完了しました。

4 メッセージを確認して【OK】をクリックします。

保存先に指定した場所にファイルが存在す るか確認しましょう。

ファイル名 例 練習.tzb



- ◆ このプログラムおよび使用説明書は、著作権上、当社に無断で使用、複製することはできません。
- ◆ このプログラムおよび使用説明書の使用によって発生する直接・間接・特別・偶然 または必然的な損益については、一切の責任を負いません。
- ◆ 本製品の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、
 当社にご連絡下さい。
- ◆ このプログラムおよび使用説明書の内容は、予告なしに変更することがあります。

発行:2019年 10月(初版)

